

教育長就任あいさつ

教育長茂木伸一



平成30年12月7日に町長より町議会定例会に提出された人事案が議会の同意を得、教育長に任命されました。平成30年12月21日から3年間の任期ということで、前任の櫻井雄一教育長はじめ、歴代の諸先輩が尽力され築いてきてくださった町全体の教育行政に携わらせていただくことになりましたが、学校教育や社会教育という営みを通して町の子どもたちや町民の皆さまにどのような貢献ができるだろうかと考えたときに、その責任の重みと大きさに身がすくむ思いがいたします。

私は定年退職するまで県下各地の小中学校や教育事務所などに身を置かせていただきましたので、学校というところが主人公である子どもたちの活躍はもちろん、保護者や地域住民の方々、県や市町村当局の多大なるお力によって成り立っていることを、身をもって体験してまいりました。この度はそのことへのご恩返しが少しでもできればという思いで非力ながらお引き受けした次第でございます。どうぞよろしくお願いいたします。さて、町の皆さまはこんな経験はありませんか？道を歩いていて見ず知らずの中学生とすれ違うときに、「こんにちは（おはようございます）」と実に気持ちのよい挨拶をしてくれたことを。私はある会合でエコールみよたに向かつて歩いていたとき、ちょうど下校時間と重なっていたのか多くの御代田中学校の生徒とすれ違うことができました。

2、3人で歩いている場合もあれば、1人の生徒さんの場合もありましたが、男女を問わず、例外なく彼らの方から声をかけてきてくれたのです。私の気持ちが明るく晴れやかになり、心が軽くなったのは言うまでもありません。また、北小学校・南小学校の音楽会にお邪魔すると、どの学級・学年も精一杯の澄んだ歌声を響き渡らせてくれます。両校の管楽器クラブは各種大会で上位の結果を出してくれています。町の2校が共にこれほどの活躍を見せてくれる市町村はそう多くはありません。ほんの一例を挙げてみましたが、それぞれ児童・生徒が、具体的な姿で教育の成果を物語ってくれています。このような姿に至るには、

子どもたちの気づきがあり、努力があり、指導に当たられる先生方がいて、それを支える保護者がいて、見守る地域の方々、町民の皆さまがいます。「教育」を語るとき、この具体や事実と、その背景にある支えやつながりを大事にし、根幹に据えたいと思います。このことは学校教育に限られません。町全体の社会教育・社会体育の一つの場である町民運動会があれだけ連続と続き、町や地区を挙げての楽しみ、場となつていくこと、それを運営できるという具体的な事実が御代田町の底力を示していると思います。「御代田町って住みやすい町だね」という印象に教育が果たす役割は大きいものがあると思います。

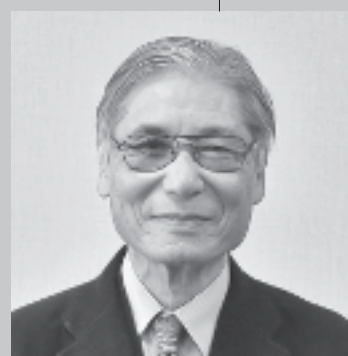
今、教育を取り巻く環境は厳しいがあります。いじめや不登校、学力問題や先生方の長時間労働など山積していることは皆さまご承知のとおりです。新しい学習指導要領に基づく教育課程の完全実施に備えて、「主体的・対話的で深い学び」「特別の教科道徳」「小学校における外国語(英語科)」「プログラミング学習」の導入などにも対応していく必要があります。また、新たな社会体育施設の必要性やより豊かな生涯学習環境の整備などにも、もとより微力ではございますが町民の皆さまの知恵とお力をお借りし、ご指導とご協力をいただきながら、今まで以上に誠心誠意全力で取り組んでいく所存でございます。

教育長退任あいさつ

「町民の皆さまの温かいご支援に

感謝申し上げます」

前教育長 櫻井雄一



新しい年を迎え、町民の皆さま方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平成30年12月20日をもって任期満了のため教育長を退任させていただきました。

平成26年3月7日より、再登板として教育長を4年8か月間、町の教育行政に取り組みさせていただきました。就任に当たつての思いは、地道ではありますが、「子どもの心を育てたい」ということでした。

当時、学校現場では、発達障がいの子童が年々増加し、その対応に追われているのが現状でした。教育委員会としては学校の要望に応え、教員資格のある学習支援員を町費で雇用しその対応に当たつていただきました。毎年子どもの実態は変わりますが、1校

に6〜7名の学習支援員を配置した年もありました。しかし、学習支援員を増やすことは必ずしも解決につながらず、その対応は対症療法的で、根本的な解決にならない状況でした。

そこで、障がいのある子どもない子も共に学ぶ温かい学級づくりこそが大切だろうと、インクルーシブ教育に力を入れるよう3校にお願いしました。

教育委員会としてもインクルーシブ教育の推進のために3校の先生方を一堂に会し研修会を行いました。さらに、先進地の視察研修として東京の日野市へ20名余の先生方を町のバスをお借りして研修してきました。

本年度4月から教師力アップのために町費で指導主事を雇用し、授業改革に向けて取

り組みました。学校の要請に応え、個々の先生方の授業参観をし、その授業のあと指導に当たつていただきました。地道な取り組みですが、少しずつ、着実に授業改革の兆しが見えてきました。

授業改革と並行して教師力アップのための自主研修にも力を入れ、講師をお招きして研修会を重ねてきました。

●信州大学教職員大学の畔上一康先生

●軽井沢への風越学園創設に奔走している本城慎之介先生

●元東京学芸大学 岩瀬直樹先生(埼玉県スーパリーチャー)

さらに、親力アップのために元長野県教育長 斉藤金司先生をお招きして研修会を行

いました。

いずれも学校の勤務時間後の研修会でしたが、近隣の学校の先生方へも呼びかけたところ、その反響も大きく大勢の先生方に集まつていただき、これからの授業の方向について学ぶことができました。

すべての教室で、「教師が教え込む授業」から「子どもたちが主体的に学ぶ」そんな学習が展開されることを期待しているところです。

退任後は、ただのお年寄りですが、子どもたちの安全のために朝のパトロールだけはこれからも続けていこうかと思つていきます。よろしくお願ひします。

最後になりましたが、在任中のご厚誼への感謝とともに町民の皆さまのご健勝を心からご祈念申し上げます。

2名の方が
教育委員に
就任しました

12月町議会定例会で議会の同意を得て、教育委員会委員に中山梨恵子氏を再任、屋代司氏を新任しました。任期は中山氏が平成30年12月15日から4年、屋代氏が同21日から約3年です。



屋代 司氏



中山 梨恵子氏